

図書館 だより

2025年10月号

2025.9.27(土)発行



市立富良野図書館(0167-22-3005)
076-0032 富良野市若松町5番10号
火～金 10:00-18:00 土・日 9:00-17:00

休館

白抜きの日は
おやすみです



利用者カードが
新しくなりました

図書館の本のデータが電算化された2002年より、23年にわたり発行してきた「利用者カード」がこのたびリニューアルしました。

これまでのプラスチックカードからラミネート式になり、こども用カードには「よむニャン」、おとな用カードには図書館の建物をイメージしたイラストが描かれています。

なお、旧カードの新規発行は終了となりますが、お持ちのカードはそのままお使いいただけます。

新カード



旧カード



2025年10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9/30(火)～10/3(金)は特別整理期間のため

図書館はおやすみです

休館中の本のご返却はブックポストをご利用ください。ただし、CD・DVD・市外図書館から借受けた本は、開館中にカウンターまでご返却ください。

10月の休館日 10/1(水)～10/3(金) 10/6(月) 10/13(月) 10/14(火) 10/20(月) 10/27(月) 10/31(金)

図書館のおはなし会

読み聞かせボランティアのみなさんによる絵本や紙芝居、あそび歌など♪
どなたでも参加できますので、ぜひあそびに来てくださいね。

どんぐりおはなし会 10月8日・15日・22日・29日(毎週水曜日)
午後3時～3時30分/1階・読み聞かせ室

どようびのおはなし会 10月11日(毎月第2土曜日)
午前10時30分～11時/2階・多目的ホール

えいごのおはなし会 10月はおやすみです
※10/25(土)はハロウィンパーティー!

【協力】
読み聞かせボランティア「どんぐり」
読み聞かせボランティア「ノンタン」
外国語指導助手・読み聞かせボランティアのみなさん



図書館まつり2025

ハロウィンイベント

本をかりた0歳～小学6年生までのひらがな対象です。折り紙やスタッフの手作りグッズが当たります!



折り紙の紙など、何かが当たるかも!

本をかりてチャレンジ!

ハロウィンくじ

10月25日(土)

10:00～ なくなり次第終了

1階 カウンター

こどもからおとなまで、
どなたでも大歓迎!♪
ぜひご参加ください!



クラフトパーツなど、つけたいかざりがあればもってきてね(としょかんにも用意があるので、なくてもOKです!)

moru doll workshop

10月26日(日)

9:10～ ※最終受付11:30

2階 展示ホール



新着図書

棚にない本は予約ができます。



くら蔵(朝井まかて・著/講談社)

天保の世。大坂にいらなくなった道具商の放蕩息子「くら蔵」と寅蔵は、江戸の骨董商の世界へ。お宝を巡って時に騙され、時に勝負をかけ、時々情に流され…。



無駄にしたい話(水村美苗・著/筑摩書房)

創作への意識、暮しの可笑しみ、家族への想い、文学や日本語のこと…。多様で複雑で加速度的に変化する世界をどう見つめ、何を感じ、どんな言葉を紡いだのか。エッセイ、評論、書評、日記、未発表講演録を収録。



イン・ザ・メガチャーチ(朝井リョウ・著/日経BP)

「神がいないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」ファンダム経済を築く者、のめり込む者、のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、“物語”の功罪を炙り出す。



図解眠れなくなるほど面白い米の話

(トキオ ナレツジ・著/日本文芸社)

令和の米騒動の原因は? 日本の主役米・コシヒカリはどうして一強なの? 冷めたご飯はダイエットになる? 正しいお米の保存方法って? 米の歴史や雑学を1テーマずつ図解とともに掘り下げる。



ドキュメントクマから逃げのびた人々(三オブックス)

クマに遭ったらどうするか。遭わないためにはどうすればいいか。クマに襲われたが命は助かった人々の話をもとに、どのように襲われ、どう行動したのかなどを詳しく紹介する。



疲労学(片野秀樹・著/東洋経済新報社)

いかに疲労を少なくするか。疲労が少なければ、それだけ休養にあてる時間も少なくて済む。「休養学」博士が、疲れを抑制する行動や、疲れを少なくする思考法、さらには疲れにくくなる食事法を紹介する。